

ぬいぐるみのおとまり会 イン大磯町立図書館

1 活動の概要

小さい頃から本に親んでもらう1つのきっかけとして、2017年から開催している。おはなし会・本の貸出を「ぬいぐるみのおとまり」というイベントと組み合わせることで読書活動の推進を図る取り組みである。例年、定員の2倍以上の申込がある人気のイベント。

2 活動の状況、実際

【対象】 年中～小学2年生（抽選15名）【令和6年度】

【内容】 申込は電話または来館にて受付。おとまり会の当日は午後4時～5時のおはなし会（いってらっしゃいタイム）にぬいぐるみと一緒に参加してもらい、ぬいぐるみを預かる。夜には、大磯町立図書館のキャラクター「いそちゃん」がぬいぐるみの活動の様子をSNSで投稿する。

翌日の午後1時～午後4時のおかえりなさいタイムにぬいぐるみを迎えに来てもらい、夜間の様子を冊子にしたプレゼントカードを渡し、ぬいぐるみが選んだ本2冊を貸し出す。

また、より多くの人にこの取組を知ってもらうために、「ぬいぐるみのおともだちがよんでいた本」コーナーを設けて貸出をしている。

例年、申込の先着順に参加者を決定していたが、リピート率が高く毎年同じ方の参加が多くなってしまった。そのため、令和6年度から参加者の決定を抽選とし、初めての方も参加できるようにした。

3 参加者、指導者等の声

【参加者の様子】

「来年はいつやるの」、「また来たい」、「次回も楽しみにしている」といった声が上がっている。このイベントがきっかけで初めて来館する親子もいた。また、おとまりの様子をリアルタイムで伝えるSNSは、ご好評いただいている。職員が「写真にあるこの場所ってどこかわかる？」と聞くと、アンケートを記入している母をおいて館内を探しに行ってしまう姿があった。

【担当者】

参加者にさらに楽しんでもらえるように雰囲気大切にしている。当日のおはなし会のプログラムは、月や夜に関係ある話や、ぬいぐるみに関係ある話をするようにしたり、おかえりなさいタイムには「こんな風に遊んでいたよ」など臨場感たっぷりに夜間の様子を話したりしている。開催日を9月にしたこともあったが、おはなし会が終わっても明るくおとまり会の雰囲気が出なかったため12月開催に戻した。

貸し出す本の選定は、年齢や申し込みの際のアンケートを参考にして、ぬいぐるみが本を選んだと感じてもらえるよう工夫している。

このイベントを通して、本や図書館への関心を持つきっかけとなつてほしい。また、普段図書館を利用しないお子さんにも図書館を身近に感じてほしい。

